

テーマ

翔しょう

時を超えて、
翔けるこころ

第22回

地域伝統 芸能まつり



※都合により演目は変更する場合があります。
あります。ご了承ください。

沖繩県・沖縄市

エイサー

尾花沢花笠踊り

山形県・尾花沢市

新城市の囃子曲持

神奈川県・川崎市

比婆荒神神楽

広島県・庄原市

狂言「雷」

出演・野村文三郎 他

淀江さんこ節

鳥取県・米子市

行山流舞川鹿子躍

岩手県・一関市

今寺の面浮立

佐賀県・糟野市

なまはげ大鼓

秋田県・男鹿市

なまはげ大鼓

秋田県・男鹿市

今寺の面浮立

佐賀県・糟野市



Go Savaroto

第22回 地域伝統芸能まつり 翔テーマ

時を超えて、
翔けるこころ

会場
府中の森芸術劇場
どりーむホール
(東京都府中市)

募集人員1600名

入場無料
応募抽選により

今回から「地域伝統芸能まつり」実行委員会会長を務めることになりました民俗学者の小松和彦と申します。どうぞよろしくお願いたします。

「地域伝統芸能まつり」は日本各地に脈々と受け継がれてきた芸能を保存・伝承し、地域の活性化をはかる取り組みです。22回目となる今回のテーマは「翔」。何事にもとらわれず、時空を超えて自由に翔ける祭の心は、新たな時代や暮らしを求める人々に明るい希望をもたらし、未来を照らす力になるのではないのでしょうか。各地の伝統ある祭事や古典芸能が一堂に会し、個性を競い合う新たな「祭」が、日本文化の素晴らしさを再発見し、郷土に親しみと誇りをもつ契機となることを願っています。

地域伝統芸能まつり実行委員会
会長
小松和彦



2月20日(日) 午後2時30分 開演

1 なまはげ太鼓

秋田県・男鹿市

なまはげ太鼓は、ユネスコ無形文化遺産にも登録された国指定重要無形民俗文化財「男鹿のナマハゲ」と日本古来の「和太鼓」を融合させた古くて新しい男鹿独自の郷土芸能です。男鹿温泉交流会館「五風」での定期ライブ公演を開催している他、各種イベントにも精力的に参加しています。勇壮なナマハゲが叩く迫力ある和太鼓の演奏は、唯一無比の感動と興奮を与えてくれます。

2 今寺の面浮立

佐賀県・嬉野市

面浮立は、佐賀県が誇る民俗芸能のひとつ。笛・鐘・太鼓の囃子に合せ鬼面をつけて舞います。もともとは約450年前の戦(いくさ)における戦勝祝いの舞だったと言われていますが、現在は五穀豊穡への感謝をする神事芸能として受け継がれています。嬉野市に伝わる今寺の面浮立は、男衆の躍動感のある動と静を組み合わせた舞と、女衆の鐘の舞が調和した独特の演舞となっています。

3 行山流舞川鹿子躍

岩手県・一関市

行山流舞川鹿子躍は、約300年前に宮城県南三陸町から一関市舞川に伝わった郷土芸能です。腰に太鼓をさげ、鹿の頭をかぶり、自ら唄い、太鼓を打ち鳴らし、背負った「ササラ」を揺らしながら勇壮に踊られるもので、五穀豊穡、念仏供養といった祈りが込められています。保存会会員らによる伝承活動が意欲的に行われ、若い継承者も育っています。岩手県指定無形民俗文化財。

4 淀江さんこ節

鳥取県・米子市

淀江さんこ節は幕末頃に北前船の発達により、九州方面から伝わった民謡がお座敷芸として淀江に定着し、明治から大正にかけて一大ブームとなりました。軽快なテンポに合わせて左官屋さんが土壁を滑稽に塗りあげる「壁塗りさんこ」や、「銭太鼓」、「傘踊り」など、明るさと躍動感が感じられる唄と踊りは、観る者を自然と笑顔にする力があります。米子市指定無形民俗文化財。

5 狂言「雷」

出演:野村又三郎(和泉流)ほか

一天にわかにかき曇り、鎌倉から奥州へ下るヤブ医者目の前に、轟音とともに空から落ちてきたのはナント!あの雷様ではありませんか。腰を打って痛がる雷様に、手当てをするヤブ医者の手には大きな針が握られています。さて、どうなりますか。

6 新城の囃子曲持

神奈川県・川崎市

囃子曲持とは、米俵・酒樽など諸道具を使用し、囃子のリズムに合わせ力技と妙技を競う芸技です。「新城の囃子曲持」は明治の初め頃、農民の生活に取り入れられ、神事祭事などに欠かすことのできない庶民芸能として伝習されています。曲持ちは俵を使った基本形から様々な演目を持ち、観る人に迫力と楽しさと感動を与える芸技で、昭和52年神奈川県民俗芸能50選に選ばれ、翌53年には川崎市重要習俗芸技に指定されています。

7 比婆荒神神楽

広島県・庄原市

比婆荒神神楽は、400年以上の歴史のある古式を留めた貴重な神楽で、広島県内の神楽において唯一国の重要無形民俗文化財の指定を受けています。庄原市東城町一帯で継承される古い神楽の形で、かつては四日四晩にわたって奉納されていました。この神楽は、鎮魂の要素を色濃く残しているのが特色といわれ、とくに託宣(神がかり)の神事を伝えていることは全国的にも貴重とされています。

8 尾花沢花笠踊り

山形県・尾花沢市

大正8年、尾花沢市のかんがい用水確保のため徳良湖築堤工事が行われ、その際に唄われた土搦唄が「花笠音頭」の発祥とされています。また、その土搦唄に合わせて、笠を廻して即興で踊ったものが「花笠おどり」の原型とされ、現在では尾花沢市のみならず、山形県を代表する文化のひとつとなっています。

9 エイサー

沖縄県・沖縄市

エイサーは、本土の盆踊りにあたる沖縄の伝統芸能のひとつ。伝説を広めるために発生した念仏踊りが、だいに姿を変えていったものであり、地域ごとに独自の衣装・踊り・掛け声など特色を持つ伝統が受け継がれています。中でも本島中部の沖縄市では特にエイサーが盛んに踊られています。演者同士が踊りながら交差し、様々なかたちへ大胆に変化する演舞体系、ダイナミックな男女混成の踊りなど見どころ満載です。

※演目は変更の場合もあります。ご了承ください。

「観覧申込方法」 入場は無料です。下記URLまたは、QRコード画面より申込フォームへお進みください。

<https://www.jafra.or.jp/project/tradition/matsuri/2022/>
(インターネットでの応募となります。郵便往復はがきでの応募はできません。)

※または、「地域伝統芸能まつり」で検索してください。

地域伝統芸能まつり

検索



- ・同一メールアドレスでの重複申し込みはできません。また、同一電話番号で複数お申し込みいただいた場合、1件として取り扱います。ご応募いただいた方には、受付確認メールをお送りいたします。
- ・入力内容に不備があった場合は、無効となりますのでご注意ください。・応募多数の場合は抽選となります。当落結果は、2月上旬に申込者全員にメールにて通知いたします。新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、当選者数を制限する場合があります。・当選者には、入場整理券(座席券)を公演日の約1週間前を目途に発送いたします。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事前に座席を指定させていただきます。・ご来場は当選された方と、申し込み時にご同伴者として登録された方に限らせていただきます。それ以外の方へのチケットの譲渡はお断りいたします。

応募締切:令和4年1月30日(日)午後11時59分

お問合せ:ハローダイヤル 050-5541-8600 9:00~20:00(全日)

※ご応募いただいたお客様の個人情報は、本フェスティバルの抽選、当落告知および個人を特定しない統計資料の作成の目的で使用させていただきます。また、公演後、会場にて新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる事象が発生した際に、必要に応じて保健所、自治体等の公的機関へご来場の方の情報を開示する場合を除き、お客様の事前の承諾なく個人情報を業務委託先以外の第三者に開示、漏洩いたしません。

主催:地域伝統芸能まつり実行委員会、一般財団法人 地域創造

後援:総務省、文化庁、観光庁、NHK、公益財団法人府中文化振興財団

協力:名鉄観光サービス(株)

※新型コロナウイルス感染症の感染状況や、荒天などの影響により公演を中止する場合があります。あらかじめご了承ください。そのほか、各地域の感染状況や移動制限などにより、ご来場をお控えいただくことがあります。最新の開催情報は、地域伝統芸能まつりのホームページなどでお知らせいたします。

※ご来場時、また会場内では必ずマスクを着用し、咳エチケット、手指の消毒など感染防止にご協力ください。

※会場入口でサーモグラフィカメラ等により体温を測定させていただきます。37.5度以上の体温が測定された方は入場をお断りいたします。